

静岡文化芸術大文化政策学部で伝承文学を専攻。二本松康宏教授ゼミに所属する4年生。同学年のゼミ生5人とともに浜松市天竜区龍山町で昔話採録調査に取り組み、書籍の出版を実現した。岐阜県飛騨市出身。21歳。

—調査で意識したことは。

「地元住民との信頼関係の構築に最も注力した。直接会って話を聞き、面白い話を引き出せるように心掛けた。何度も通ううちに名前を覚えてもらい、声を掛けられるようになったのがうれしかった」

書籍「たつやまの民話」の出版に携わった

なかだに あやね
中谷 文音 さん (中区新津町)

この人



—グループでの役割は。

「まとめ役を担う幹事だった。龍山協働センターの職員の方々との連絡役を務め、現地調査では車での送迎など、さまざまな面で協力していただいた」

—なぜこのゼミを選んだのか。

「学問を身に付けて地域

に貢献する方向性に共感した。調査のフィールドと地元の飛騨市は同じ山間地域で、人口減少など抱える課題も似ていた」

—出版した感想は。

「予想以上に話が聞けなかったり情報が少なかったりして苦しいときもあったが、6人全員で完成できて感無量。それぞれが責任を持って役割を果たした。収録した話の中では『百合と兄弟』という昔話が特に印象に残っている」

◇
 ダンスサークルに所属。調査が縁で龍山町のイベントにも出演した。